

No	⑦	分類	2-(2)-ア	資料名	ぼくの夢	学年	5・6年	領域	道徳	4-(2)
----	---	----	---------	-----	------	----	------	----	----	-------

1 ねらい

- 障害の有無にかかわらず、それぞれの夢に向かって共に高め合おうという気持ちをもつ。

2 趣旨

- 共に学び、共に成長したいと願う児童たちの心のつながりに気づかせたい。
- 障害者問題についての理解を深め、共生できる社会の実現に向けて、自分にできることを考えさせたい。

3 配慮事項

- 学級に障害がある児童がいる場合は、事前に気持ちを聞いてみるなどの配慮をする。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 「ぼくの夢」を読む。</p> <p style="text-align: center;">「ぼく」は、どんな子どもでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすに乗っていて、立つことや歩くことができない。 ・字を書いたり、物を持ったりすることができない。 ・大きな声がだせない。 ・勉強を頑張っている。 ・友だちが大好きだ。 ・けんかをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文P.12のイラストを参考に、ぼくの障害がかなり重く、できないことがたくさんある中で、友だちと、明るく一緒に学習したり、遊んだりしていることに気づかせる。 ・「けんかをすることもある。」に着目させ、同じ学級の仲間として対等な関係の中で、共に生活をしている学級のよい雰囲気を感じ取らせたい。
<p>2 朝の会の司会をする「ぼく」の気持ちを考える。</p> <p style="text-align: center;">朝の会の司会をする「ぼく」の気持ちを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上手にできるといいな。 ・緊張するな。 ・スピーチをちゃんと聞いてくれるかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の一員として、意欲的に司会に臨もうとするぼくの前向きな姿勢を感じ取らせる。 ・真剣に話を聞く学級の仲間の様子にせまる。
<p>3 「ぼく」の夢について考える。</p> <p style="text-align: center;">「ぼく」の夢はなんでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックの運転手になること。 ・お父さんのようになること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害があるぼくにとっては、トラックの運転手になることは難しいと考えられる。「ぼくの夢」はトラックの運転手になることと同時に、「お父さんのような人間になりたい。」ということであることに気づかせたい。
<p style="text-align: center;">「ぼく」の夢を聞いたとき、学級の仲間はどのように思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実現は難しいかもしれない。 ・自分も負けずにがんばりたいな。 ・お父さんが好きなんだな。 ・障害のある人が運転できるトラックが開発されて、夢がかなうといいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実現の難しい夢だと感じつつ、それをあたたかく受け入れようとする周りの児童たちの様子を理解させ、日頃から、支え合い認め合う関係があることに気づかせたい。 ・技術の進歩や周りの人々の理解が深まれば、「障害」も軽減し、自立できることも増えていくことに気づかせたい。
<p>4 障害のある人たちとのくらしについて、自分たちの学級や学校の様子をみつめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の仕方と自立について考えさせ、互いに磨き合って高まっていこうとする気持ちをもたせる。